

## ようじとうよういくほうしん 幼児棟養育方針



おとな みまも なか  
大人が見守る中でひとりひとりが愛情に包まれ、安全で安心な生活を送る。また、基本的な生活習慣を適切に  
みにつけながら、しんしんとも げんき えがおあふ せいかつ めざ  
身につけながら、心身共に元気で笑顔溢れる生活を目指す。

### よういくもくひょう 【養育目標】

『だいすき・だいじ・だいじょうぶ』

どんなあなたでもだいすき、だいじ、そんざい  
どんなことがあっても大丈夫だよというメッセージをひびつたえ、じこ  
肯定感が高められるようにする。

### せいかつもくひょう 【生活目標】

1. ころもからだもげんきに
2. 相手のいいところをみつける
3. あいさつや「ありがとう」が言えるようになる
4. 自分を表現する
5. ひとつのことをやりきるちからをつける

### せいかつ 【生活について】

#### 1 きほんてきせいかつしゅうかんを身につける

- ・発達に応じて適切に排泄が出来るように支援する。
- ・オムツ交換や排泄時、快・不快がわかるような言葉がけや、たいおう  
ことば  
・季節や気温に応じて衣服の調整をし、こころよく過ごせるように支援する。
- ・衣服の前後、靴の左右が分かる。
- ・発達に応じて、シャツをいれる、ボタンやチャックができる。(サイズ感のあう衣服を身につける) (破れているときは縫う)
- ・帰宅後や食事前に、手洗い・うがいができる。
- ・歯磨きやお顔を洗うことができる。(仕上げ磨きをする) (うまく洗えてないときは顔を拭きをする)
- ・まいにちのようちえん、ほいくえん、かよ  
しえん  
・毎日楽しく幼稚園や保育園に通えるよう支援する。
- ・遊んだあと片づけができる。
- ・自分でできることを増やしていく。
- ・ししん、けんおん、とお  
こどもの  
へいねつ、し、びょうき、よぼう、そうき、たいおう、つと  
・視診や検温を通して、子どもの平熱を知り、病気の予防や早期の対応に努める。
- ・よぼうせつしゅ、ねんかんよてい、た、けいかくてき、じっし  
・予防接種の年間予定を立て、計画的に実施する。
- ・びょうじたいおう、けい、かかんきつひょう、さくせい、ふくやくかんり、たいちょう、へんかとう、し、ひつよう、おう、つういん  
・病児対応に経過観察表を作成し、服薬管理や体調の変化等を知り、必要に応じて通院をする。



## 2 人間関係

- ・他の人と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。
- ・子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を構築する。
- ・ごっこ遊びやお手伝いを通して、生活力を養えるよう支援する。
- ・遊びなど様々な経験を通して、一緒に活動する楽しさを養う。(年齢に応じたルールのある遊びを提供する)
- ・子どもたちの頑張りや成長を感じ、認める機会を大切にする。
- ・人との関係の中で自他の区別をつける。
- ・一人遊びからみんなで遊ぶことを楽しめるようになる。



## 3 環境

- ・周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
- ・大人が見本となり、一般常識や交通ルールを伝え、身に付けられるよう支援する。
- ・安全面・衛生面に考慮した環境を保つ。(掃除場所の担当を決め生活の場所を大切にする)
- ・視覚で分かる取り組みをし、自他の区別がつくように支援する。
- ・おもちゃや本などに興味をもってさまざまな遊びを楽しむ。
- ・季節や生き物、植物に興味・関心をもつ。(季節感に合った遊びの提供や季節の物を使った遊びを行う)
- ・遊びや生活の中で数の概念や文字への興味を持つ。
- ・使ったものは元の場所に戻す。



## 4 言葉

- ・子どもと共に過ごす中で、大人が物事や気持ちを言葉にし、適切な表現をする力を養う。
- ・話を聞く姿勢が身に付けられる。
- ・大人と子ども同士の話す機会を多くもつことで、聞くこと・話すことを楽しめるよう配慮する。
- ・したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。
- ・絵本や物語を通して、言葉に興味を持つ。(最終目標は絵のない本を読み聞かせる)
- ・わからないことを自分で知り、わからないと言うことができる。
- ・してほしいこと、したいことを言葉で伝える。
- ・正しいや発音や言葉の意味を教える。



## 5 表現

- ・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。
- ・性について知る機会を提供する。(いいタッチ、悪いタッチの絵を貼る)(わたしの絵本の活用)(トイレ、入浴時の工夫)

- ・歌ったり踊ったりすることを楽しむ。
- ・水・砂・土・紙・粘土など、いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。
- ・文字や絵を描く楽しさを知る。
- ・就寝時の絵本の読み聞かせの定着。

## 6 食育

- ・日々の食事や調理などを通して、適切な食事マナーを身につくように支援する。
- ・自分たちで栽培・調理をし、作ることの楽しさや食べてもらうことの嬉しさを知る。
- ・職員がおいしさを言葉で表現することで、楽しい食卓になるよう支援する。
- ・楽しくご飯を食べる。
- ・苦手なものも少しずつ食べられるようになる。
- ・食材を五感で知る機会を提供する。



### 【保護者との協働】

1. 保護者と共に子育てをする関係を築く。そのために、子どもの成長をこまめに伝えるようにする。
2. こども家庭センターと方針を協議し、親子再統合に向けて、見通しを持った支援が行えるように情報共有して、一貫した支援を行う。
3. 必要に応じて、関係機関と連携しながら保護者の現状の把握を行う。
4. こども園のおたよりを毎月保護者に伝え、行事などに参加してもらうよう働きかける。

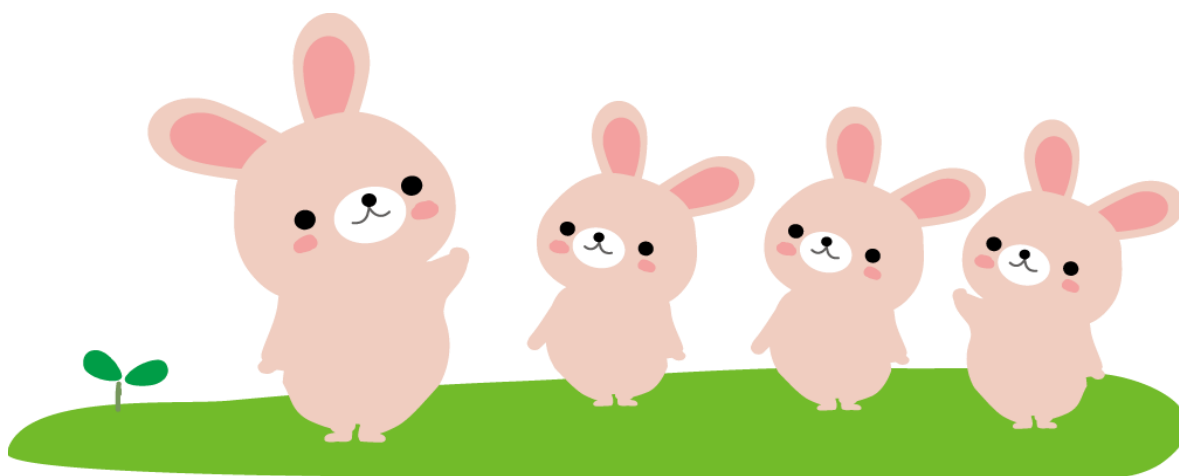
### 【こども園との連携】

1. こども園からのおたよりを確認し、持ち物や提出書類など忘れ物がないようにする。
2. こども園に子どもや保護者の様子や日々の養育の意図などを説明し、相互理解を図るよう努める。
3. こども園との情報交換会を開催し、園の子育てや児童養護施設についての理解が深まるようにする。
4. 迎えの時間や体調不良者が出た時の対応等で迷惑を掛けてしまわないよう気を付け、信頼関係を築いていく努力をする。



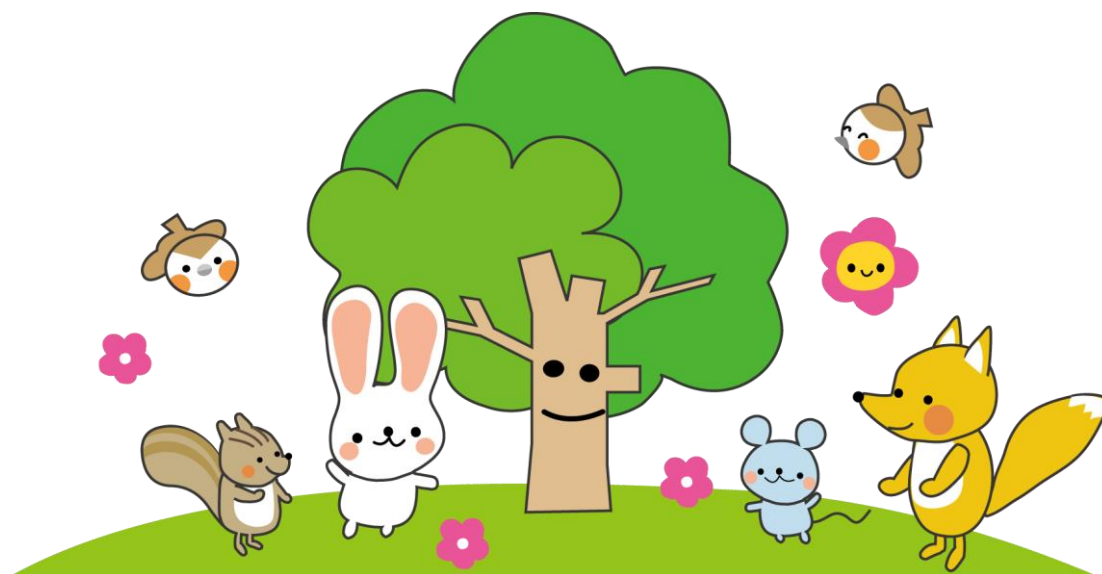
【日課・平日】

時間	平日 (在園児)	平日 (こども園通園児)
6:30	起床・着替え	起床・着替え
7:00	朝食準備・朝食	朝食準備・朝食
7:30	洗面	洗面
7:40		登園準備
8:30	お手伝い	登園
9:00	自由時間 (室内遊び)	
	(外遊び)	
11:45	昼食準備・昼食	
12:30	午睡	
14:00	午睡起床	こども園降園
15:00	おやつ	おやつ
15:30	自由時間	自由時間
17:30	夕食準備・夕食	夕食準備・夕食
18:30	夕食片付け	夕食片付け
18:45	入浴・はみがき	入浴・はみがき
19:00～	くつろぎ	くつろぎ
19:45	就寝準備・就寝	就寝準備・就寝



( にっか きゅうじつ )  
【日課・休日】

きゅうじつ 休日	
8:00	きしやう きがえ 起床、着替え
8:30	ちやうしよくじゆんび ちやうしよく 朝食準備・朝食
9:00	せんめん 洗面
9:15	てつだ せうじ お手伝い・掃除
9:45	じゆうじかん 自由時間
11:45	ちゆうしよくじゆんび ちゆうしよく 昼食準備・昼食
12:30	ごすい みまんじ ねんちゆう ねんちゆうじゆうじかん しつない あそ 午睡(未満児)、年中・年長児自由時間(室内遊び)
14:00	ごすいきしやう みまんじ 午睡起床(未満児)
15:00	おやつ
15:30	じゆうじかん せとあそ 自由時間(外遊び)
17:30	ゆうしよくじゆんび ゆうしよく 夕食準備・夕食
18:30	ゆうしよくかたづ 夕食片付け
18:45	にゆうよく 入浴・はみがき
19:00~	くつろぎ
19:45	しゆうしんじゆんび しゆうしん 就寝準備・就寝



## 【養育目標】

笑顔の木を育てよう

## 【生活目標】

1. 基本的な生活習慣を知り身につけよう
2. 自分や相手を大切にしよう
3. 自分の気持ちに気づく
4. 目と肌で感じ興味関心の幅を広げよう
5. 安心・安全な生活をしよう



## 【生活について】

### 1 基本的な生活習慣を身につける。

- \* 大人がモデルとなるが、何事においても子どもと一緒に学ぶ姿勢を心がける。また、楽しく健康的な生活が送れるよう工夫を凝らし、スキルを習得できるよう支援する。
  - ・時計や予定表を確認し、時間を見て生活する習慣を身につける。
  - ・気持ちのいい返事、あいさつをする。
  - ・TPOや季節に合わせて身だしなみを整える。
  - ・歯磨き、耳掃除、洗髪、洗体の方法を学び、体を清潔に保つ。
  - ・おこづかいの使い方を知る。(貯金の大切さ、買い物を通して金銭感覚を身につける)
  - ・心地よい睡眠をとり、早寝早起きの習慣を身につける。

### 2 食育

- \* 食事のマナーを身につけられるよう支援する。
- \* 毎日の食事ができること、作ってくれる方への感謝の気持ちを忘れず食事ができるよう支援する。
- \* 行事食の意味や季節の料理など、子ども達が楽しく学びながら食事ができるよう支援する。
  - ・食事のマナーを適切に身につける。(肘をつかない、椅子にきちんと座る、茶碗を正しく持つ、お箸を正しく持つ)
  - ・落ち着いた環境の中で、みんなが楽しめる食事の雰囲気を作る。
  - ・行事食を頂きながら、行事の意味や旬の食材を知り季節を感じる。
  - ・調味料の正しい使い方を知る。
  - ・大人と一緒に料理しながら、調理器具の使い方や工程を学ぶ。



### 3 健康

\* 衛生面に配慮し、快適な生活環境を整えていく。

\* 日常の健康管理や、身体測定を通して、病気の予防に努め、健全な成長発達を支援する。

\* 年齢に応じて自分の身体を知る機会を提供する。

・遊びや体力づくりを通して健康な体をつくる

・手洗い、うがい、消毒をしっかりとし、病気から自分の体を守る

### 4 物を大切にする

\* 整理整頓の方法と一緒に考え、行うことで整った環境が心地いいと感じられるよう支援する。

\* 新しいもの（学習机や収納ラック）を取り入れ、自分自身が大切にされていると感じられるようにする。

\* 物に込められた人の思いを感じ取れるよう支援する。

・整理整頓の方法を知り身に付ける。（学習机・ベッド・タンス・共有のスペース）

・貸し借りのルールを身に付ける。

・使ったら、元にあった場所に片付ける。

・物の正しい扱い方を知る。

・物を壊す・なくすことを重く受け止め、探すこと、修理することの大切さを学ぶ。

### 5 人間関係

\* お互い大切に出来る関係を目指し、感情表現の大切さが理解できるよう支援する。

\* 大切にされているという安心感を感じ、集団の中での役割や居場所を見つけられるよう支援する。

・自分の気持ちに気づき、適切な表現ができるようになる。

・小学生会や担当会を通して自分の意見を伝えられるようになる。

・仲間を思いやれる気持ちを持つことができる。

### 6 学習

\* 学習意欲を高め、自信につながられるよう、心理士との連携を図り、個々の発達段階に合わせて支援する。

#### (1) 宿題

・その日、出された宿題は最後までやりきり、基礎学力を身に付ける。

・自分で考える力を身に付けるとともに、間違ったところやわからない所を聞き理解する。

・時間の使い方を考えて宿題に取り組む。（週末・長期休暇の宿題の計画）

## (2) 特別学習

- ・ 休日の学習時間を使って、個人の学力に合わせた自主学習を行う。
- ・ 余暇学習として、漢字検定を行う。
- ・ 公文教室など、外部の学習支援の利用も個々に応じて検討していく。



## (3) 学習環境を整える

- ・ 学習に必要なものは、学習机に置かない。
- ・ 高学年は居室で学習し、静かに取り組める環境で集中して行う。
- ・ 学習前後に机の上、棚の整理整頓をし、学習に集中できる環境づくりをする。

## 【行事】

- \* 行事を通して共に生活する楽しさを感じられるよう支援する。
- \* 季節の行事を大切に、文化や伝統を伝えていく。
- ・ 早い段階から行事の意図を知り、行事に興味・関心を持って参加する。
- ・ 行事前の練習や準備の過程を大切に、達成感を味わう。
- ・ たくさんの人の協力を得て、行事に参加が出来ることを感じる。
- ・ 行事を通して人とのつながりを深め、自身の成長に気づく。
- ・ 地域や招待行事に参加し、地域の方や招待して下さった方々への振る舞いを学ぶ。

## 【保護者関係】

- \* 各家庭の状況を把握し、段階に合わせて見通しを立てた上で、親子関係を構築して行けるよう支援する。
- \* 保護者の思いを十分に聞き、園の子育てや子どもの成長について保護者に伝える中で、一緒に子育てをしているという気持ちを持ってもらえるように支援する。
- \* こども家庭センターやFSWと連携を図り、支援方針を協議し適切な支援に繋げる。
- ・ 保護者・施設双方の子どもに対する思いを尊重し合い、話し合った上で、見通しを立てて支援をする。
- ・ 年齢に応じて親の思いを伝えていく。家庭の現状や状況を伝え、気持ちの整理をしていく。
- ・ 保護者の思いを大切に、面会、外出、外泊等を調整する。(外泊の意図を伝える)
- ・ 保護者が子どもの成長を感じ、適切な関わりができるようになる。
- ・ 他棟との連携を密にとり、同じ見通しを持って、親子関係の調整をしていく。
- ・ 個人情報取り扱いについては、細心の注意を払う。

## 【学校・地域・友達関係】

### 1 学校

- \* 社会のルールを学べる場であることを認識し、学校生活が円滑に遅れるよう支援する。



\* 学校との連絡を密に取り、施設での生活と学校生活が一貫性を持って過ごせるように支援する。

- ・ 元気に楽しく学校に行けるよう、安全な登下校をする。
- ・ 忘れ物をしないよう、前もって確認を行い準備をする。
- ・ 自ら学ぶ姿勢を身につける。
- ・ 友人関係を大切にする。
- ・ 学校行事に参加し、地域の方との交流を通し、子どもの成長や友達関係を知る。

## 2 地域

\* 職員側が地域を知り、園が地域の一員であること、支え合って生活が出来ていることを感じられるよう支援する。

- ・ 地域の人達に見守られているということを感じ、進んで挨拶していく。
- ・ 地域行事に積極的に参加することで、日ごろ経験できないことを体験する。(色々な人との触れ合いの場、自己発見の場、人との適切な距離間を知る場とする)
- ・ 外出先でのマナーを身につける。
- ・ 職員も地域の一員として、地域・保護者との関係を大切にする。
- ・ 学校・地域行事等の機会を利用して、地域の方との交流をする。

## 3 友達関係 (放課後の過ごし方)

\* 施設以外の人との出会いを通して、社会性を学べるよう支援する。

- ・ 友達との約束の仕方を教え、約束や外出時の声掛けを習慣づける。
- ・ 子どもだけでの自転車の外出は個々に応じて許可を出し、サイズの合った自転車に乗り、ヘルメットを必ず着用、安全運転をする。
- ・ 校区外には子どもだけで出かけない。
- ・ 遊びに行った際には、相手のお宅での礼儀やマナーを大切にする。



【日課】

（平日） （平日）	（休日） （休日）	
6:30	8:00	起床
6:45	—	マラソン
7:00	8:30	朝食準備・朝食
	—	登校準備
7:50～	—	登校
—	9:00	学習
	10:00	お手伝い
—	12:00	昼食
14:45～	—	下校
		おやつ・宿題・くつろぎ
17:30		掃除・夕食準備
18:00		夕食
		夕食片付け
19:00～		入浴・くつろぎ
19:45		低学年就寝準備・就寝
20:45		高学年就寝準備・就寝・消灯



# <令和6年度> 中高生棟 養育方針

## 【養育目標】

自律・自立

～自分の行動への理解と自覚を持つ。互いに認め合い、共に生活を創りあげていく。～

## 【生活目標】 高校生

- ・自分の生活リズムを整え、自立を目指して、生活力を高める
- ・お互いの存在を認め合い、相手の気持ちや考えも受け止め協力しあう
- ・自分の得意、不得意を知り向き合い、具体的に将来の道筋をたてる
- ・自分の行動に責任を持ち、社会性を身につける
- ・自分たちで決めたルールを継続して守ろうと思えるようになる

## 【生活目標】 中学生

- ・生活に必要なことを習慣化できるようにする
- ・自分のことを知る
- ・基礎学力をつけて、進路選択肢を増やしていく
- ・相手の立場や状態を思いやった言動をとる
- ・自分たちで決めたルールを守ろうとする

## 1、生活について

### (1) 基本的な生活習慣

- 必要な生活習慣を身につけ、自らが行動していけるように支援する
  - ・生活に必要な力とは何かを考え、細かいステップで少しずつ身につけていく
  - ・その場に適した服装を自ら考え、身につけることができる（髪型・場に適した服装、装飾品など）
  - ・日課の必要性を理解し、取り組もうとすることができる

### (2) 社会規範

- 社会で必要な常識・責任感がなぜ必要なのかを理解し、身につけられるように支援する
  - ・決められたことを守ろうとする
  - ・礼儀作法、社会のルールなど経験を通して身につける
  - ・自分の言動に責任を持つ
  - ・人との関係を大切にする（相談や話し合い・地域の人々との交流）
    - ・自分の価値基準だけで判断するのではなく、周りにも認められる行動をする

- ・棟で認められた携帯電話のルールを正しく理解して使用する

### (3) 自己理解

○自分の意思、意欲、向上心を高め、夢や目標をしっかりと持てるように支援する

- ・自分の言動を振り返ることで、自分への理解につなげる
- ・自分の生い立ちを整理し、自分としてどう生きていくかを考え、自己決定する
- ・自分の得意・不得意を知り向き合い、将来について考える
- ・具体的な目標を見つけ、その達成に向けて努力する
- ・親の存在や現実を受け止める

### (4) 生活づくり

○心づかいや気づきを大切に、お互いが安心して心地よい生活を営めるよう支援する

- ・自他の境界線やパーソナルスペースを理解し、適切な距離感をはかれるようにする
- ・住環境を清潔に保ち、自分にも他児にも心地よい生活環境を整える
- ・適切な言葉づかいを考え、使用する
  - ・思いやりや感謝の気持ちを持って生活をする
- ・余暇活動などを利用して趣味や特技を高めていく
  - ・中高校生会を実施し、自分の意見を発信でき、他の意見も聞くことで生活の質の向上を目指す

### (5) 食育

○生きていく上で基礎となる食の力を身につけられるよう支援する

- ・食事のマナーを身につける（食べ方、味付け、偏食など）
- ・食に対する感謝の気持ちを持ち、あたたかい雰囲気の中で食事をする
- ・季節に合った食材を使って調理したり、献立を考え一から作ったり調理の仕方や味付けなどを工夫して、食に対する興味・関心を持つ（自らの食を選択する判断力を持つ）
  - ・調理時の衛生面の管理を徹底するため、必要性や理由を伝え、検便への協力も意識する

### (6) 行事

○日常の出来事の中で文化の継承や興味関心を伸ばせるように支援をする

- ・自らが企画立案し、自分の意見を出すことや必要な情報の収集をし計画に沿って実施することができるように支援する
  - ・意味や意図を伝えあうことで理解を深め、様々な形も含めて積極的な参加につなげる
  - ・他者と目標を共有し、達成する喜びを感じる

### (7) 性について

- ・自分を大切にすることや、性別の理解を深める
- ・性についての知識、関心をあいまいにせず、正しい情報を伝え考えられるように支援する
- ・異性に対する理解を深める
- ・異性との距離感やつながり方を意識できるようにする

## 2、保護者・関係機関との協働

- 自立に向けて保護者と子育てについて共通理解しながら一緒に支援をする
- 各子ども家庭センターや学校・医療等関係機関と方針協議を立て、協働を図りながら支援をする
- ・定期的に連絡を取り合い、お互いの状況を知る

## 3、学校との連携

### (1) 学習

- 学ぶ意欲を高め、勉学に励むよう支援する
- ・基礎学力を高め、自信にもつなげる
- ・提出物を期限内に出すことの必要性を理解して取り組む
- ・学習環境を整える
- ・塾や学習ボランティアの利用をする
- ・自立前であることを自覚し、将来の目標を達成するための努力をする
- ・日々の学習時間に意味を見出し、意欲をもって取り組む
- ・自分の力を見極め、検定・資格を計画的に取得する

### (2) 進路

- 自分の将来について考え、最善の進路を決定できるように支援する
- ・施設や学校等周りの大人に相談をしたり、環境を通して適切に進路選択をする
- ・ボランティア活動、地域活動、学校活動など社会経験や体験を積んだり、実習やオープンキャンパスを利用する
- るなどして視野を広げ、自分の力を見極める
- ・学校やメディア、公共施設などを積極的に利用し進路の情報を調べる
- ・自分の進路に合わせて奨学金制度を利用し、活用する
- ・自分の将来について、信頼できる大人と話し合いを重ねる

### (3) 教養

- 社会に参加していく上で役立つ知識を提供し、身に付けられるように支援する
- ・アルバイトなどの実体験を通して成功だけでなく、失敗も含め自立に大切な一般常識を学ぶ
- ・メディアやインターネットなどを活用し、時代情勢や風潮を知り興味関心を得る
- ・学校配布のタブレットのルールを確認し正しい使い方についても学んでいく

### (4) 部活

- 部活動を通して、それぞれの個性を伸ばし、特技を磨けるよう支援する
- ・熟慮して入部を決め、自分で決めた部活は最後までやり遂げる
- ・部活動の参加を通して頑張りを認める機会にする

- ・場面や状況に応じた言葉遣いや態度、配慮など人間関係を学ぶ
- ・健全な心身を養う

#### 4、アフターケア

○卒園後の子ども・保護者が安定した生活が送れるよう支援する

- ・学園の親機を利用し、卒園した子どもと定期的に連絡を取り合う。また、必要に応じて卒園児たちが集まれる機会を提供する
- ・卒園後も定期的に連絡を心掛け、必要に応じて相談に乗り継続的に見守る
- ・学園、職場、関係機関との連携を図り、卒園時後の生活状況を共有しながら社会に適応しているかを把握し見守る

#### 5、日課

時間		中・高 全日制		定時制	自立訓練生
平日	休日				
6:30	8:00	起床※1		起床※1	起床※1
		掃除		掃除	掃除
7:00	8:30	朝食		朝食	朝食
	9:00	登校	学習		出勤
	10:00		お手伝い ※2	お手伝い※2 就労訓練	
	12:00	昼食		昼食	
				登校	
18:15～19:00		夕食			
19:30		学習			
20:30		入浴			
22:00		自由時間			
22:50		就寝準備、各居室へ			
23:00		就寝		夕食・入浴	就寝
24:00				就寝	

※1 登校・出勤時間によっては6:30より早く起床する場合があるため、日課の時間も変動する。

※2 休日は環境整備などお手伝いが入る。定時制児童については就労訓練などが日中活動に追加される。